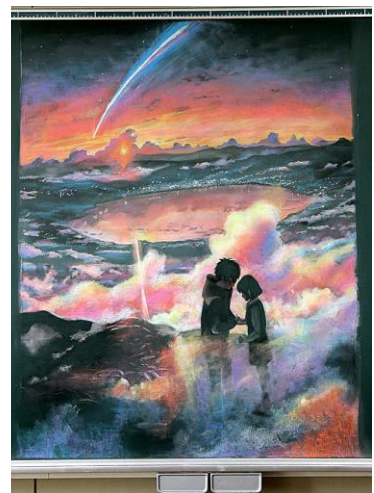




平成29年度「最優秀賞」静岡県立富士宮高等学校（ちゃん'S）



平成29年度ジュニアの部「最優秀賞」名古屋市長神の倉中学校（美術部の魔術師たち）



平成29年度特別課題の部「最優秀賞」埼玉県立大宮光陵高等学校（たけし）



学校の授業に欠かせない黒板。その黒板をキャンパスに見立てた「黒板アート甲子園」なるコンテストが開催されているという情報を聞きつけ、早速取材してきました。クイズ形式の黒板まめ知識と共にお届けします。

わたしたちの住む大井第二地区に黒板メーカー「日学株式会社」があります。この会社では高校生、中学生を対象に卒業・入学シーズンを中心に黒板に描かれる「黒板アート」のコンテストを開催しています。学校内の黒板をキャンパスに、仲間と共にチヨークで描いた作品。その画像データをもとに審査を行う絵画コンテストです。

「黒板アート甲子園」を始めた経緯について同社の山田さんにおうかがいしました。「ある時、社長がインターネットで閲覧していると、黒板に描かれた一枚のすばらしい画像と出会いました。すばらしいアートにも匹敵し、このような作品を集めるコンテストをやりたいとの思いからスタートしました。」一般的に学習イメージの強い学校黒板ですが、授業中毎日見つめる黒板への親しみを願う、仲間と描く自由な発想をコンテストにした黒板メーカーさんならではの思いを感じます。

黒板に描くものは、やがては消される。そのはかなさと、味わい深いチヨークタッチ。子どもらしく伸びやかさかつ繊細さ。それはまさに芸術作品です。

今年も3月からの応募期間を経て優秀作品が発表になったばかりです。

昨年から募集されていた、平成二十九年「第二回日学・黒板アート甲子園」の入賞作品の一部を左にご紹介します。

学校黒板は授業で使われるだけでなく、落書き、メッセージボードからアートの世界にまで広がっているのです。中高生の皆さん、「黒板アート甲子園」を目指してみてもいかがでしょうか。

平成29年度「第2回大会」では

作品数 153点
応募学校数 88校
応募生徒数 753人

からの応募がありました。



学校黒板は授業で使われるだけでなく、落書き、メッセージボードからアートの世界にまで広がっているのです。中高生の皆さん、「黒板アート甲子園」を目指してみてもいかがでしょうか。

日学・黒板アート甲子園専用ホームページ

<http://kokubanart.nichigaku.co.jp/>

黒板クイズ



第1問. 黒板の日はいつでしょう？

(ヒント! 語呂あわせかな?)

A 5月8日 B 5月9日 C 10月17日

第2問. 黒板には何色があるでしょう？

(ヒント! いろいろな色があります)

A 黒 B 緑 C あいいろ

第3問. 黒板の寿命はどのくらい？

(ヒント! 意外とデリケート?!)

A 100年 B 10年~20年

C 3年~5年

第4問. 黒板の正しいお手入れ方法はどれでしょう？

(ヒント!)

ていねいなお手入れが大切です)

A 黒板消で拭く+水拭き+空拭き

B 黒板消で拭く+水拭き

C 黒板消で拭くだけ

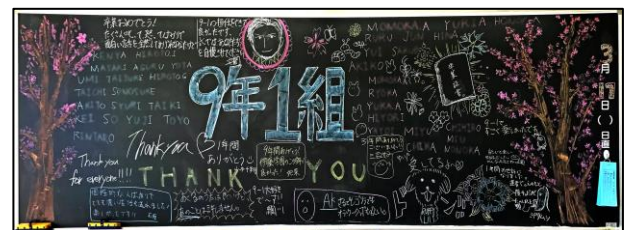
【和田、荻、平松、高木、嶋村、高島】

前述の山田さんの話では、コンテストはやはり卒入学時期にしたかったそうです。学校生活での思い出やこれからの期待が綴られた、いつもとは違う黒板はアートでなくても印象に残っている方もいるのではないのでしょうか。そんな1日だけの近隣小中学校の黒板をいくつかご紹介します。

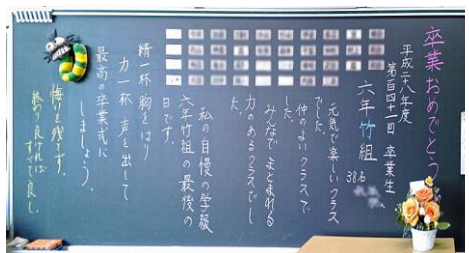
↓大井第一小学校



↑伊藤学園



↑伊藤学園



↓大井第一小学校



↑山中小学校